



漢検3級合格の中1、田中さん    漢検4級合格の中1、土井さん    漢検5級合格の中1、梶田君    漢検3級合格の中3、成瀬さん



漢検4級合格の中3、松山君    田積さんは、お母さんが3級、小3の衣桜ちゃんが9級合格    札幌の「東急ステイ札幌大通」に勤務する21期生の木村さんが。    今年も高専に(株)キッツのリクルートに来た21期生の田村君と。

**AI時代を生き抜く3原則**  
野村総研と英オックスフォード大学の共同研究によれば、10〜20年後には日本の労働人口の49%、601の職業が、人工知能もしくはロボットで代替可能であるとされています。  
このように期待と不安が交錯するスリリングな時代を生き抜く上で、君たちの心に留めておいて欲しいことが3つあります。  
まず何より重要なことは、自分にとって本当に幸せなこと、何にも代え難く大切なものとは何なのか、それがしっかりとわかっていて自分でいることだと思えます。  
そのためには、常に自分の頭で物事を考え自分の心で感じ、自分なりの「価値観」を確立して行かなければなりません。

君自身の価値観、それが人生という大海原を進んで行く上での「羅針盤」となります。  
正しい羅針盤さえ持っていれば、どんな荒波や強風が来ても、君たちは流されることなく自身の思い描く幸福という目的地に向かって力強く航海を続けることができるでしょう。  
その次に大切なことは、過去を見据えながら未来を見晴らす「イマジネーション」だと思えます。前にも述べた通り、ある問題を解決して便利になるというものは、新たな問題が生まれることでもあるのです。  
新しいアイデアや技術によってどのような未来がやって来るかを予見し、プラスの効果を最大に、マイナスの効果を最小にするよう考え行動することなしに、人が幸せにたどり着くことはできません。そしてそうした予見できる力を培う上でも忘れてならない三つ目が、自然や歴史へのリスペクト、「畏敬の念」です。  
イノベーションを起こすような新たな技術やアイデアは、ともするとこれまで築いてきた人の営みを破壊し、自然の摂理まで侵してしまっています。真の幸福とは何なのかという本質的な疑問を持つこともなく、イノベーション競争の勝利だけに血道をあげる人間の驕りは、必ずや大きなしっぺ返しを受け、人類の破滅を引き起こしかねません。  
君たちが生きるこれからの時代をデザインし、思い通りの世の中へと作り上げて行くのは、誰でもない君たち自身です。  
どうか天から与えられたその頭脳と心と身体を存分に使って、ワクワク、ドキドキを忘れずに、自分が正しいと信じる未来を果敢に切り拓いて行ってください。    作新学院理事長、元NHKキャスター 畑恵

ラグビーのワールド・カップが世界中を魅了し、私たちに示したものは、およそAIとは真逆の選手たちの精神、気迫、根性だったと思えます。  
「ワン・フォー・オール」(一人は皆のために)「オール・フォー・ワン」(皆は一人のために)の精神で国籍に関係なく、人種に関係なく、国の代表として「ワン・チーム」を合言葉に、優勝しても賞金0の大会を闘う姿勢に感動したのだと思えます。  
近年、スポーツに精神や根性は必要ない、科学的なデータに基づいた練習だけで強くなる、勝てる、かのように言われてきました。  
しかし、だから社会で通用しない精神的に弱い若者たちが多いのではないのでしょうか。  
目標に向かって失敗を恐れず、困難に立ち向かう姿勢は、過保護や過干渉、建前論ではダメなのです。AI時代を生き抜く子供たちにはならないのです!

「教育の現場」実情 洗脳状態。その部活、ブラスバンドで長時間の拘束や高圧的な指導などで生徒を苦しめる中学・高校のいわゆる「ブラスバンド部」について、問題の多さを測る指標「部活」健康度尺度」を奈良大の太田仁教授(社会学)らが作成し、今月上旬の日本社会心理学会で発表した。太田教授は「渦中にある顧問や生徒は『これが普通』と思いがち。校長や周囲の関係者が尺度を活用してチェックし、ブラスバンド部を減らすきっかけになれば」としている。(木ノ下めぐみ)

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

「あてはまる」と答えた人が多かった項目  

- 部活によって精神的に追い込まれた
- 決まりに従わない部員がいなかった
- 顧問に怒鳴られたり、殴られたり、蹴られたりなどの暴力を自分や他の部員が受けた
- 顧問や先輩の指示には絶対に従わなければならない
- 部活動をするのが最も大切なことで、そのためにはほかのいろいろなことを犠牲にしなければならない
- 返事をするときなどは全員で声をそろえたり、独特の言い回しがあったり、軍隊のようなルールがあった

は「今回の尺度で(問題のある)行為を具体的に示すことで、どういう指導が望ましいのかをイメージしやすくなる」と評価している。  
「本来生徒を育むべき部活動によって、生徒がダメージを受けているのであれば本末転倒だ」と危機感を募らせる太田仁教授  
**強豪校ほどブラスバンド化**  
部活動をめぐっては、特に勝利にこだわる強豪校で、顧問が期待に応えられない部員に罰を与えるなどの問題が起こりやすい。顧問による直接の圧力や暴力だけでなく、チームメイトからも責められた生徒が孤立し、精神的に追い詰められる状況も起こっている。(裏面へ)

部活動が「ブラスバンド」か否かを統一した指標で調べる手段はこれまでほとんどなく、子供へのスポーツハラスメントに詳しい東京未来大学の太田仁教授

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

部活動を始めるとは、平成24年に大阪市立桜宮高等学校バスケットボール部の男子生徒が体罰を受けて自殺。今年5月にも、兵庫県尼崎市立尼崎高のバレーボール部で顧問による体罰が発覚するなど、子供たちが心身を傷つけられる事例が後を絶たない。  
太田教授らは、こうした問題を受け、中高での部活を経験した大学生や中高の養護教諭ら約30人から聞き取り調査。「過酷な部活のため心身ともに疲れ果てていることが多い」「顧問は部員の個人的秘密を守らないことがあった」などの61項目を、部活の「健康度」を測る指標としてまとめた。「まったくあてはまらない(1点)から『よくあてはまる(5点)』で集計し、点数が高いほど悪い。満点の6〜7割を超えると『不健康』と判断する。  
全国の大学生約260人に、中学・高校での部活を振り返ってこれらの指標で集計してもらったと、「部活で精神的に追い込まれた」「顧問の指示が絶対だった」「休日が少なすぎる」と思っていた」といった項目に、多くの人が「よくあてはまる」と回答。太田教授は「一般社会なら人権侵害ともいえる行為が、部活動では当たり前のようになっている」と指摘し、今後、20項目程度に絞り込んだ上で学校現場での活用を促すという。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
		年末・年始休み			◆中3生冬期講座開始				休塾	★中3理科特講						休塾	★中3図形の計量特講					休塾	★中3確率・作図特講						休塾	
		年末・年始休み(4日)			◆中1・2生冬期講座開始																									

関西の私立女子高のダンス部では2年前、3年生の部員が一時、失踪した。同部は全国大会で毎年入賞する強豪校で、学校の期待も厚く、部専用の練習場所や専属コーチもいた。だが、大会での好成績を求められたコーチが技量不足の部員を指弾し、部員間の関係も悪化。仲間から、なぜできないのかと責められた部員は「死にたい」と思い詰め、下校中に失踪した。錯乱状態で歩き続け、数時間後に発見されたという。

同校の女性養護教諭は「部活を理由にうつになる生徒が毎年、出ている。これが教育とは思えない」と疑問を口にする。

奈良大の太田仁教授は「私立の強豪校は学校や保護者から結果を求められるあまり、ブラック化しやすい」と指摘。また、「勝利至上主義から顧問と部員に絶対的な上下関係が生まれると、部員は過剰に集団への帰属意識を持つようになる。カルト宗教にはまっていく状況に酷似している」と説明する。

一方で、強豪とはいえない普通の学校でも、問題は起きている。

大阪府内の私立高で、年間の休日が盆と年始の数日間しかないバレーボール部に所属していた女性(25)は「弱小部だったが、休むことは許されず、それが当然だと思い込んでいた」と振り返る。練習中に過呼吸になった部員をコート外に運ぶと、顧問がその部員の顔面にボールを投げつけ、「コートに戻れ」と叫んだという。「絶対的存在の顧問を怒らせないよう細心の注意を払った。当時は“洗脳状態”でした」

部活動に所属していない生徒への圧力もある。岡山県の公立中出身の男子大学生(19)は、部活動をしていないクラスメートに対し、担任が「ここには部に入っていない者がいる」と嫌みを言ったことに違和感を覚えた。自身も部活動をやめたいと相談した際に怒鳴られたといい、「部活の加入は本来自由であるべきだ」と訴えている。

2019.11.26 11:01 産経 WEST

#### 【用語解説】ブラック部活

顧問や指導者から部員に対し、体罰や人格否定、長時間拘束などの問題のある部活動。休日返上で指導に当たる教員への過重負担を指す場合もある。部活動は学校教育の一環ではあるが教育課程には含まず、文部科学省は、生徒と教員、生徒同士の人間関係を構築したり自己肯定感を高めたりする多様な学びの場として位置づける。部活動は自主的、自発的な参加によるもので、本来強制はされない。



### “コンピュータに心臓無し”

#### あの引退IT業界風雲児が“人間らしさ”にこだわるワケ



中国の電子商取引最大手、アリババ・グループの創業者兼会長だったジャック・マー氏(55)と言えば、米ネット通販大手、アマゾン・ドット・コム(AMZN)の創業者兼CEO、ジェフ・ベゾス氏(55)らと同様、IT(情報技術)革命によって世界の流通業

を激変させた傑物で知られます。

入試にも就職にも起業にも失敗しますが、めげることなく突き進み、大学の英語の講師を経てアリババを創業。米経済誌フォーブス(電子版)の調べでは、今年2月2日に総資産411億ドル、日本円にして約4兆4700億円を記録。中国では1位、世界でも21位の大富豪になりました。

ところが54歳の誕生日を迎えた昨年(2018)の9月10日、もう一度、教育に関わる仕事がしたいと「来年の9月10日に会長を辞任する」と発表。世界を驚かせました(ちなみに中国では9月10日は「教師の日」です)。

そして55歳となった今年9月10日に会長を退任。CEO(最高経営責任者)のダニエル・チャンに会長職を譲り、アリババの経営から退いたのでした。突然の退任に中国当局主導の陰謀論などもささやかれましたが、当人はそれらを否定。アリババの本社がある東部・浙江省(せつこうしょう)の杭州市(こうしゅうし)で9月10日に催された引退式典では、マー氏が派手なオレンジ色のエレキギターを抱えた欧米ロッカーのコスプレで登場し、約6万人の社員たちを大いに沸かせました。

そんな彼が欧米メディアに語ったこれからの夢や後進に向けた助言が味わい深く、カッコ良すぎるのです…。

#### ■大学3浪、失敗ばかりの人生…インターネット出合い“兆億万長者”に

まずはマー氏とアリババについて簡単に。杭州市に生まれたマー氏は、幼い頃から独学で英語を学びました。自宅からかなり離れた場所にあるホテルに9年間、自転車で通い、外国人観光客向けのツアーガイドを務め、英語力を高めたとい

います。

そのうち、外国人観光客の1人とペンフレンドになりますが、そのペンフレンドは、マー氏の中国名を発音するのが難しかったため、彼に「ジャック」というニックネームを付けました。ジャック・マーの「ジャック」の由来です。

しかし、その後の人生は失敗の連続でした。3浪して現在の杭州師範大学に入学。1988年に英語の学士号を取って卒業し、この大学でしばらく英語の講師を務めますが、起業をめざしさまざまな職業に挑みます。

ところが30種類の職業全ての採用試験で不合格。40の会社を立ち上げますが、全て失敗します。2015年1月のインタビューで、警察官の試験も不合格で、地元ケンタッキーフライドチキンの店ができた時、自分を含む24人が採用試験を受けたが、自分を除く23人が合格したといった過去を赤裸々に語りました。

ところが94年、インターネットの存在を知り、ネット関連企業を設立。紆余曲折を経て99年、杭州市のアパートの一室で17人の友人と共にアリババを設立。企業間の電子商取引に加え、個人が出店できるネット上の仮想商店街やネットオークションのシステムを中国で初めてシステム化。これが爆発的に受け、2007年に香港証券取引所に上場した際、時価総額が2兆円を突破。以来、業績もぐんぐん伸び、今日に至っています。

そんな中での「経営者引退」な訳ですが、10月16日付の米金融経済系ニュースサイト、ビジネスインサイダーなどによると、マー氏は前日の同月15日にシンガポールで開かれた「フォーブスCEOカンファレンス(会議)」で、引退後の過ごし方のひとつとして、既に中国国内に幼稚園や小学校、高校を立ち上げたと言明。過去5年間で農村部の教師たちと仕事を共にした経験を生かし、英語教育に関する新たなアイデアを発展させたいとの意向を示しました。

そして、さらに深刻な問題として、今後20~30年以内にいまの教育システムが変化しなければ、若い世代はデジタル時代を乗り切るのに十分な能力を身に付けることができなくなるとの懸念を表明しました。

#### ■“人間は不要”AI(人工知能)時代こそ「人間らしく生きる」方法と教育が

マー氏は、頭(脳)で物事を考える明敏で頭の切れる人々の例として、アリババの従業員を挙げ、「彼らは知的で、とても誇りに思う」とたたえるとともに、心で考える賢者であることが最も好ましいと考えていると明言。そして、こう訴えました。

「頭が切れる人々のほとんどは、誰かに勝つことを望んでいるが、僕はこうした人々に人間らしく生きる方法や、他人を思いやる方法を学ばせたい。彼らが他人を気にかける方法、未来を気にかける方法、人間らしく生きる方法を学べば、企業は暖かい場所となり、物事はスムーズに進み、ソフトパワーが得られます。でなければギャングたちのグループができるでしょう。このことが、私がより賢明な人や指導者が必要と考える理由です」

「高性能のコンピューターは、常にあなたより頭は切れますが、賢くなることは決してありません。なぜなら、コンピューターには心がなく、チップしかないからです。だから私は、人間は常に(頭と心の両方で考える)賢者になるため、学ばべきだと思うのです」

さらにマー氏は、これから本格的に到来するAI(人工知能)時代に向け、子供たちに「人間らしく生きる」方法を教えるよう、教育システムを変更する必要があるとの考えを示唆。人々の心を引きつける芸術的な仕事として、音楽やダンス、絵画、スポーツなどの技術や才能を伸ばすことが「非常に重要」と強調しました。

またマー氏は、他に重要な才能や技術として、独立した思考や革新性、創造性を挙げ「若者が成功について学び過ぎると、彼らは簡単に成功できると思う。なので、間違いから学びましょう。間違いを恐れなくてください。間違いを犯したとき、それと向き合う方法、それを解決する方法、挑戦する方法を学んでほしい。それが知恵と呼ばれるもので、未来の子供たちに教えるべき事柄なのです」と述べました。

アリババを創業する30代半ばまで、失敗だらけの人生だったマー氏。過去にも「100万ドル(約1億円)あれば幸せだが、1000万ドル(約10億円)だとトラブルと頭痛の種だ」「金持ちの父親も有力者の叔父もない。持っているのは応援してくれる顧客だけだ」との名言を連発していますが、今回の助言の数々も説得力に満ちていますね。そして彼は最後にこう締めくくりました。

「若者を信用してください。私は成功者や高齢者よりも若者を信頼しています。なぜなら、専門家は過去しか語らないからです。未来を語る専門家はいないでしょう。成功者のほとんどと仕事をしていますが、彼らが語るのは過去だけです。われわれは新たな世紀、そして新たな世界に突入しています。若者たちと仕事をしている時、あなたは未来について語っているのです…」(岡田敏一)

2019.11.15 産経新聞【エンタメよもやま話】

リスクを恐れずに目標に向かう積極的な意欲と行動なしに結果は表れないのです!